アイヌ民話ライブラリ 2

上田トシの民話 2

アイヌ民族博物館

第２話　散文の物語

ふたりの父

収 録 日：1995 年 10 月 26 日
資料番号：35228B
添付 ＣＤ：3-2（30 分 41 秒）

第２話 散文の物語「二人の父」[1]

（ひとりの息子が語る）

アウヌフ アン アオナハ アン ヒネ
a=unuhu an a=onaha an hine　　私は父母と
(私の)母 いる (私の)父 い て

オカアン ペ ネ イケ
oka=an pe ne _hike　　暮らしていました。
暮らす(私) もの だ が

タネ ポロアン ペ ネ クス
tane poro=an pe ne kusu　　もう私は大きくなったので
もう 大きくなる(私) もの だ から

ネプ カ アエシリキラプ カ ソモ キ ノ… ノ
nep ka a=esirkirap ka somo ki no... no　　何を苦労することもなく
何 も (私)苦労し も しない で

ヤイカタ ネプキアン コロ アナン ペ ネ ヒケ
yaykata nepki=an kor an=an pe ne hike　　自分で働いていました。
自分で 働く(私) ながら いる(私) もの だ が

オラ マク ネ ワ ネ ヤ アウヌフ チシ コロ
ora mak ne wa ne ya a=unuhu cis kor　　そしてなぜか母は泣いて
こんど どう し て だ か (私の)母 泣い て

パテク アン。[2]
patek an.　　ばかり。
ばかり いる

ネプ カラ ヤッカ チシ コロ アン。
nep kar yakka cis kor an.　　何をしていても泣いていました。
何 し ても 泣い て いる

イペ ウトゥッ タ ネ ヤッカ
ipe utur_ ta ne yakka　　食事の間も
食事 の間 に で も

チシ コロ アン イケ カ
cis kor an _hike ka　　泣いているのですが
泣い て いる のに

アコウウェペケンヌ カ
a=kouwepekennu ka　　私はそれについて尋ねたことも
(私)尋ね も

ソモ キ ノ オカアン。
somo ki no oka=an.　　ありませんでした。
しない で いる(私)

1　1995 年 10 月 26 日、鍋沢キリ氏宅にて収録。調査者は安田千夏、同席者は鍋沢キリ、大谷洋一の両氏。この話をどこで誰から聞いたかについて上田トシ氏は何も語っていないが、よく似た話が C230UT_35299A にある。それについては「姉（木村キミ氏）から聞いた」と語っている。

2　物語の冒頭でよく見られる表現。主人公を育てた人物が泣いてばかりいるというのは過去に何か不幸な事件があったということを示唆しているが、主人公はまだ小さいので事情は知らされないでいる。物語が進むにつれてその内容が明らかになっていく。

オラ　アオナハ　アナクネ　タネ　オンネ…
ora　a=onaha　anakne　tane　onne...　父はもう年をとって…
こんど　(私の)父　は　もう　年をとる

エイタサ　オンネ　カシパ　カ　ソモ　キ　コロカ
eytasa　onne　kaspa　ka　somo　ki　korka　あまり年を取ってもいないけれど
あまり　年をとり　すぎ　も　しない　けれど

ソユン　ネプキ　アナクネ　ソモ　キ　ノ
soyun　nepki　anakne　somo　ki　no　外仕事はせずに
外の　仕事　は　しない　で

チセ　オンナイ　タ　パテク　アン　ラポッケ
cise　onnay　ta　patek　an　rapokke　家の中にばかりいました。
家　の中　に　ばかり　いる　そのうちに

ナア　ヤイカタ　アナクネ　ペウレアン　ペ　ネ　クス
naa　yaykata　anakne　pewre=an　pe　ne　kusu　まだ私は若いので
まだ　自分　は　若い(私)　もの　だ　から

アリキキアン　ワ　ユク　ネ　ヤ　カムイ　ネ　ヤ
arikiki=an　wa　yuk　ne　ya　kamuy　ne　ya　頑張ってシカやクマを
頑張る(私)　して　シカ　で　も　クマ　で　も

アエラ…　ルラ[3]　プ　ネ　クス
a=era...　rura　p　ne　kusu　とって来るので
(私)　とって来る　もの　だ　から

ネプ　アエシリキラプ　カ　ソモ　キ　ノ
nep　a=esirkirap　ka　somo　ki　no　何を苦労することもなく
何　(私)苦労する　も　しない　で

オカアン　ペ　ネ　コロカ　オラ
oka=an　pe　ne　korka　ora　暮らしていたのですが
暮らす(私)　もの　だ　けれど　こんど

アウヌフ　マク　ネ　ワ　ネ　ヤ　チシ　コロ　パテク　アン。
a=unuhu　mak　ne　wa　ne　ya　cis　kor　patek　an.　母はなぜか泣いてばかりいました。
(私の)母　どう　し　て　だ　か　泣い　て　ばかり　いる

ソイ　タ　ソイェネ　ヤッカ　チシ　コロ　アン。
soy　ta　soyene　yakka　cis　kor　an.　外に出ても泣いていて
外　に　出て　も　泣い　て　いる

アフン　コロ　ナン　カ　ピリパ　コロ　アフン。
ahun　kor　nan　ka　pirpa　kor　ahun.　家に入ると顔をぬぐって入って来ました。
家に入る　と　顔　も　拭き　ながら　家に入る

イペ　クニネ　コロ
ipe　kunine　kor　食事をしても
食事するように　と

3　エアウナルラ eawnarura と言おうとしたのだろう。e-awna-rura（を • 家の中 • に運ぶ）で「(獲物）をとって来る」。

オラノ　ポヘネ　ヤイヌペコアッテ　コロ
orano　pohene yaynupekoatte　kor　　ひとりで泣きながら
それから　なおさら　ひとりで涙を流し　ながら

イペ　コロ　アン　シリ　アヌカラ　ヒケ　カ
ipe　kor　an　siri　a=nukar　hike ka　　食事をするのを見ていましたが
食事し　て　いる　様子　(私)見て　も

マク　ネ　ワ　エネ　アウヌフ
mak　ne　wa ene　a=unuhu　　どうして母さんが
どう　し　て　そのように　(私の)母

チシ　コロ　パテク　アン　ヒ　ネ　ヤ
cis　kor　patek　an　hi　ne　ya　　泣いてばかりいるのか
泣い　て　ばかり　いる　の　だ　か

30 アコウウェペケンヌ　カ　ソモ　キ　ノ　アナン。
a=kouwepekennu　ka somo ki　no　an=an.　　尋ねることもせずに暮らしていました。
(私)尋ねる　も　しない　で　暮らす(私)

ラポッケ　オラ　アコタヌン　ウタラ
rapokke　ora　a=kotan un　utar　　そうしているうちに私の村の人たちが
そのうちに　こんど　(私の)村　の　人たち

トノ[4]　コロパ　ワ　ウイマム[5]　エサンパ[6]　コロ
tono　korpa　wa uymam　esanpa　kor　　交易相手の和人のところに交易に行って
和人　を持っ　て　交易　に川を下っ　て

オカ　シリ　アヌカラ　ヒ　クス
oka　siri　a=nukar hi　kusu　　いるのを見たので
いる　様子　(私)見る　ので

アヤイコイソイタク　コロ
a=yaykoisoytak　kor　　ひとりごとを言いました。
(私)ひとりごとを言い　ながら

35 “ネン　ネン　アウタリ　ウイマム　エアラパ　ワ
“nen　nen　a=utari　uymam　earpa　wa　　「村人たちが交易に行って
いろ　いろ　(私の)仲間　交易　に行っ　て

ウサ　オカイ　ペ　コロ　ワ　エク　ヒ
usa　okay　pe　kor　wa ek　hi　　いろいろなものを持って来るのが
色々　ある　もの　を持っ て　来る　こと

アエイコイトゥパ”　ヒ　アイェ　コロ
a=eykoytupa”　hi　a=ye　kor　　うらやましい」と私が言うと
(私)うらやましいと思う　こと　(私)言う　と

4　尊称としても使われるが、この場合は和人の交易相手。実際に殿様であるとは限らず「立派な家の主人」くらいの意味でも使われる。

5　物語中の交易は、アイヌ側はシカやクマの毛皮などを持って和人の町を訪れる。そして交易相手と酒や穀物、着物や装飾品を交換して帰って来るとされている。

6　交易に行くときは海に舟をこぎ出して行くという描写がよく見られるが、この話では海を渡る場面はなく、川筋を行き来したということで終始している。近場の和人の町というイメージなのだろう。

アオナハ　エネ　ハウェアニ。
a=onaha　ene　hawean　_hi.
(私の)父　　このように言った　　父はこのように言いました。

“ ウイマムエサンアン　サニ
“ uymam'esan=an　　sani
交易に行く(私たち)　　子孫　　「交易に行く血筋でも

アネパ　カ　ソモ　キ　プ　ネ　ルウェ　ネ　ナ。
a=nepa　ka　somo　ki　p　ne　ruwe　ne　na.
(私たち)で　も　ない　　の　だ　こと　だ　よ　　私たちはないのだよ。

ウイマム　アナクネ　イテキ　ウイマム　ヤク　ピリカ　ナ”
uymam　anakne　iteki　uymam　yak　pirka　na”
交易　は　決して　行かない　と　いい　よ　　交易には決して行かないほうがいい」

セコロ　イェ　コロ　パテク　アン　ペ　ネ　クス
sekor　ye　kor　patek　an　pe　ne　kusu
と　言っ　て　ばかり　いる　もの だ　から　　と言ってばかりいたので

ウイママン　カ　エラミシカリ　ノ
uymam=an　ka　eramiskari　no
交易に行く(私)　も　したことがなく　て　　交易に行ったこともなく

アナン　ペ　ネ　コロカ
an=an　pe　ne　korka
いる(私)　もの だ　けれど　　暮らしていました。けれど

エイタサ　アウタリ　ウイマム　コロ
eytasa　a=utari　uymam　kor
あまり　(私の)仲間　交易に行く　と　　あまりにも私の村の人が交易に行って

オラノ　ウサ　サケ　ネ　チキ　アマム　ネ　チキ
orano　usa　sake　ne　ciki　amam　ne　ciki
それから　色々　酒　で　も　穀物　で　も　　酒や穀物や

イミ　キンカイ[7]　ネ　ヤ
imi　kinkay　ne　ya
着物　着替え　など　　着物などを

コロ　ワ　アラキパ[8]　シリ　アヌカラ　ワ
kor　wa　arkipa　siri　a=nukar　wa
持っ　て　来る　様子　(私)見　て　　持って帰って来る様子を見て

エアラキンネ　アエイコイトゥパ　コロ　アナン　ペ
earkinne　a=eykoytupa　kor　an=an　pe
本当に　(私)うらやましく思っ　て　いる(私)　もの　　本当にうらやましかった

ネ　ア　ヒ　クス
ne　a　hi　kusu
だっ た　ので　　ので

7　「kinkai　＜邦語　着替えか」[久 416]。

8　アラキ arki は ek「来る」の複数形なのでさらに複数を示すパ pa をつける必要はなさそうだが、この他にも用例がある。

シネ アン タ ヌイナカン ワ
sine an ta nuynak=an wa　ある日隠れて
ある日 隠れる(私) して

ウイマム エトコ アオイキ コロ アナン ペ ネ アクス
uymam etoko a=oyki kor an=an pe ne akusu　交易に行く準備をして
交易に行く 準備 (私)し て いる(私) もの だっ たところ

アウタリ ウイマム エサッパ ヒ クス
a=utari uymam esappa hi kusu　村人たちが交易に行くのを
(私の)仲間 交易 に川を下る ので

アケサンパ ヒネ
a=kesanpa hine　追いかけて
(私)追いかけ て

55 ウイママン クス サナン ヒネ
uymam=an kusu san=an hine　川を下って行きました。
交易に行く(私) ために 川を下る(私) して

ネ マチヤ オッ タ アラパアン イケ カ
ne maciya or_ ta arpa=an _hike ka　和人の町に行っても
その 町 の所 に 行く(私) しても

オラ アウタリ アナクネ トノ コロパ プ ネ クス
ora a=utari anakne tono korpa p ne kusu　村の人たちには馴染みの屋敷の主がいるので
こんど (私の)仲間 は 殿様 を持つ ものだ から

トノ オルン ヘノイパ ヘノイパ カネ… コロカ
tono or un henoypa henoypa kane... korka　そこに立ち寄っているけれど
殿様 の所 に 立ち寄り 立ち寄り ながら けれど

ヤイカタ アナクネ トノ カ アサク ペ ネ クス
yaykata anakne tono ka a=sak pe ne kusu　私にはいないので
自分 は 殿様 も (私)ない もの だ から

60 マチヤ[9] オペサン[10] ルウェ ネ アクス
maciya opes=an ruwe ne akusu　和人の町に沿って下って行ったところ
町 に沿って下る(私) こと だっ たところ

アシンカロ[11] ウタラ イケサンパ ヒネ
asinkaro utar i=kesanpa hine　屋敷の家来たちが私を追いかけて来て
家来 たち (私を)追いかけ て

“ オッテナ オッテナ[12]
“ ottena ottena　「アイヌの旦那さん、
アイヌの旦那 アイヌの旦那

9　日本語「町」からの移入語。

10　主人公の村から川を下って行った先にあった和人町なので、到着した地点が町の川上側にあたり、そこから川下に向かって移動したという意味であろう。

11　日本語「足軽」からの移入語。本来の意味のような戦闘行為に関わる人を指しているのではなく、トノ tono の家の使用人という程度の人を指している場合も多い。

12　日本語「乙名」からの移入語。和人がアイヌの首長を呼ぶ際の尊称から派生して、口承文芸では和人がアイヌの男性に対し「旦那さん」というニュアンスでオッテナ ottena という呼びかけをする。

トノサカン　ペ ネ ヤ”
tonosak=an　pe ne ya”
交易相手がない(私) の　です か
馴染みの交易相手がいないのですか」

イコウウェペケンヌ。
i=kouwepekennu.
(私に)尋ねる
と私に尋ねました。

65 トノサカン　ペ ネ ヒ アイェ アクス
tonosak=an　pe ne hi a=ye　akusu
交易相手がない(私) もの だ と (私)言っ たところ
いないと言ったところ

“ヤクン アコロ_… カムイ[13] トノ
“yakun a=kor_... kamuy tono
ならば (私)の 立派な 和人の旦那さん
「それならば私たちの屋敷の主が

オッテナ エイコイトゥパ コロ アン ルウェ ネ クス
ottena eykoytupa kor an ruwe ne kusu
アイヌの旦那 を欲しがっ て いる こと だ から
交易相手を欲しがっているので

イオッ タ シニ ヤク ピリカ ピリカ”
i=or_ ta sini yak pirka pirka”
(私の)所 で 休め ば いい いい
休んで行ったらいいですよ」

セコロ イェ コロ アシケ イウコエタイェパ ヒネ…
sekor ye kor aske i=ukoetayepa hine...
と 言い ながら 手 (私の)皆で引っ張っ て
と言って私の手をみんなで引っ張る

70 ヒ クス オラ
hi kusu ora
だ から こんど
ので

ネ アシンカロ ウタラ アトゥラ カネ ヒネ
ne asinkaro utar a=tura kane hine
その 家来 たち (私)連れ立ち も して
その家来たちと一緒に

アフナン ルウェ ネ アクス
ahun=an ruwe ne akusu
家に入る(私) こと だっ たところ
屋敷に入りました。すると

エアラキンネ ネ イエヤイコプンテクパ コロ
earkinne ne i=eyaykopuntekpa kor
本当に その？(私を)喜び ながら
本当に喜ばれました。

ナニ アウシペ ネ ヤ イサム ワ
nani auspe ne ya isam wa
すぐ (私)履物 だ とか 失っ て
すぐに私の履物はなくなり

75 ウセイ アヌパ ヒネ オラ アケマハ ネ ヤッカ
usey anupa hine ora a=kemaha ne yakka
お湯 を置い て こんど (私の)足 で も
足湯を置いて私の足を

13 カムイ kamuy は「神」という意味以外にも「神に匹敵するくらいに立派な」という最上級の尊称としても使われる。カムイエカシ kamuy ekasi というと「神のように立派なおじいさま」という意味になる。

フライェパ ワ アイコレ
hurayepa wa a=i=kore　　洗ってくれて
洗っ て （人が私に）くれる

オラ ヤイライケアニ
ora yayrayke=an _hi　　私は感謝の言葉を
こんど 感謝する（私） こと

アイェ ア アイェ ア コロ
a=ye a a=ye a kor　　何度も言いました。
（私）何度も言い ながら

ネ カムイ トノ サマ ウン
ne kamuy tono sama un　　その立派な主のところに
その 立派な 殿様 のそば に

80 イトゥラ ヒネ パイェアン ア… ルウェ ネ アクス
i=tura hine paye=an a... ruwe ne akusu　　連れられて行ったところ
（私を）連れ て 行く（私） こと だっ たところ

エアラキンネ ネ カムイ トノ
earkinne ne kamuy tono　　本当に立派な主
本当に その 立派な 殿様

ピリカ カムイ トノ トノ アン ヒネ
pirka kamuy tono tono an hine　　良い旦那さんがいて
良い 立派な 和人の 殿様 い て

イエヤイコプンテク。
i=eyaykopuntek.　　私が来たことを喜びました。
（私に）喜ぶ

トノサカン ヒ アイェ オラ
tonosak=an hi a=ye ora　　馴染みの交易相手がいないことを言うと
得意先がない（私） こと（私）言う こんど

85 “ヤイカタ カ オッテナサカン ワ
“yaykata ka ottenasak=an wa　　「私もアイヌの旦那さんの交易相手がいなくて
自分 も アイヌの交易相手がない（私） して

イコイトゥパアン コロ アナン ルウェ ネ ア プ
ikoytupa=an kor an=an ruwe ne a p　　うらやましがっていたのです。
うらやましく思う（私） ながら いる（私） こと だっ た が

エネ ピリカ オッテナ
ene pirka ottena　　このように立派なアイヌの旦那さんが
このように 良い アイヌの旦那さん

イコシニ ルウェ アン”
i=kosini ruwe an”　　私のところに来てくれました」
（私）の所に来た の のだなあ

セコロ ハウェアン コロ イエヤイコプンテク コロ
sekor hawean kor i=eyaykopuntek kor　　と言って喜びました。
と 言い ながら （私を）喜び ながら

90 オロ タ アナン オラ
oro ta an=an ora
そこ に いる(私) こんど
そこにいると

アエ カ エラミシカリ プ
a=e ka eramiskari p
(私)食べ も したことがない もの
食べたこともないもの

ウサ アエ ピリカ… シサム アエプ アイコサンケ
usa a=e pirka... sisam aep a=i=kosanke
色々 (私)食べる 良い 和人の 食べ物 (人が私に)出す
いろいろな和人の食べ物を

オッチケ[14] トゥラノ キ ワ
otcike turano ki wa
お膳 と一緒に し て
お膳に乗せて出してくれたので

オラノ ヤイライケアン
orano yayrayke=an
それから 感謝する(私)
感謝をして

95 オンカミアナ アナ コロ イペアン。
onkami=an a an a kor ipe=an.
何度も拝礼する(私) ながら 食事する(私)
何度も拝礼をして食事をしました。

アク カ エラミシカリ
a=ku ka eramiskari
(私)飲み も したことがない
飲んだこともない

シサム サケ ネ ヤ アエクレ ワ
sisam sake ne ya a=ekure wa
和人の 酒 で も (私)飲ませ て
和人の酒を飲ませてもらい

イク ネ ヤ イペ ネ ヤ
iku ne ya ipe ne ya
酒を飲む で も 食事 で も
飲んだり食べたり

ピリカ アキ コロ レウシアン。
pirka a=ki kor rewsi=an.
良く (私)し ながら 泊る(私)
楽しく過ごして泊まりました。

100 オラ イシムネ ネ ヤッカ ネア カムイ トノ
ora isimne ne yakka nea kamuy tono
そして 翌日 に も その 立派な 殿様
そして翌日もあの立派な旦那さんは

ナ ネン ネン キムン オルシペ
na nen nen kimun oruspe
まだ いろ いろ 山の 話
まだいろいろと山での話を

イコウウェペケンヌ コロ アイェ コロ
i=kouwepekennu kor a=ye kor
(私に)尋ね ながら (私)言い ながら
私に尋ねて来るので話をすると

14 日本語「折敷（おしき）」からの移入語とされる。和人文化では飲食をする際にひとり用の食器類を乗せる台として使用する。アイヌ文化においても、神に供物を捧げる際など敬意を払うべき相手に対して使用する。

エヤイコプンテク　コロ
eyaykopuntek　kor　　とても喜んでくれて
喜び　ながら

アコイソイタク　ウミ　ピリカ　コロ
a=koysoitak　_humi　pirka　kor　　楽しく話をしました。
(私)話をする　こと　良い　ながら

105 トリ　カネ
tori　kane　　逗留して
逗留　して

トゥッコ　カ　レレコ　カ　トリ　カネ
tutko　ka　rerko　ka　tori　kane　　２、３日滞在して
２日　も　３日　も　逗留　して

レウシアン　ヒネ　アナン　アイネ
rewsi=an　hine　an=an　ayne　　から
泊る(私)　して　いる(私)　してから

オラ　ホシピアン　クナク　アイェ　アクス
ora　hosipi=an　kunak　a=ye　akusu　　帰りますと言ったところ
こんど　帰る(私)　と　(私)言っ　たところ

ネ　カムイ　トノ
ne　kamuy　tono　　その屋敷の主は
その　立派な　殿様

110 イコヤイライケ　イ　イェ　ア　イェ　ア　コロ
i=koyayrayke　_hi　ye　a　ye　a　kor　　私に感謝の言葉を何度も言いました。
(私に)感謝する　こと　何度も言う　ながら

アコロ　ワ　サナン　ペ　アッカリ
a=kor　wa　san=an　pe　akkari　　持って来たもの以上に
(私)持っ　て　川を下る(私)　もの　以上に

ウサ　サケ　ウサ　アエプ
usa　sake　usa　aep　　いろいろな酒や食べ物
色々な　酒　色々な　食べ物

ウサ　キンカイ　ネ　ヤ　アイコレ
usa　kinkay　ne　ya　a=i=kore　　着物を私にくれて
色々な　着替え　で　も　(人が私に)くれる

アコッ　チプ　オルン
a=kor_　cip　or　un　　私の舟に
(私)の　舟　の所　に

115 アシンカロ　ウタン　ルラパ　ワ　イコレ　ワ
asinkaro　utar_　rurapa　wa　i=kore　wa　　家来たちが運んでくれました。
家来　たち　運ん　で　(私に)くれ　て

ヤイライケアン　ヒ　アイェ　ア　アイェ　ア　コロ　オラ
yayrayke=an　hi　a=ye　a　a=ye　a　kor　ora　　本当に感謝しますと何度も言って
感謝をする(私)　こと　(私)何度も言い　ながら　こんど

“カンナ スイ ノ
“kanna suy no
何度も

イコシネウェ ヤク ピリカ ピリカ”
i=kosinewe yak pirka pirka”
(私に)訪ねる と いい いい

セコロ ネ カムイ トノ ハウェアン ヒ
sekor ne kamuy tono hawean hi
と その 旦那さま 言う こと

120 オラ カンナ カンナ スイ サナン クニ
ora kanna kanna suy san=an kuni
そして また何度も 来る(私) と

アイェ ア アイェ ア コロ オラ ホシピアン ヒネ
a=ye a a=ye a kor ora hosipi=an hine
(私)何度も言い ながら こんど 帰る(私) して

オラノ アコロ ペッ トゥラシ
orano a=kor pet turasi
それから (私)の 川 をさかのぼって

ラリウアン ヒネ ヘメスアン アイネ… アクス
rariw=an hine hemesu=an ayne... akusu
舟をこぐ(私) して 上る(私) うちに したところ

タネ シンキアン カ キ ラポッケ
tane sinki=an ka ki rapokke
もう 疲れる(私) も する その間

125 ナイ ピリカ ナイ サン コロ アン。
nay pirka nay san kor an.
川 きれいな 川 出 て いる

ネ ナイ オプッ ネ ヤッカ
ne nay oput ne yakka
その 川 の河口 で も

ピリカ ナイ オプッ アン ルウェ ネ ヒ クス
pirka nay oput an ruwe ne hi kusu
きれいな 川 の河口 ある こと な ので

オロ タ シニアン クナク アラム ヒ クス
oro ta sini=an kunak a=ramu hi kusu
そこ で 休む(私) しようと (私)思う ので

アコッ チピ アシリコテ ヒネ
a=kor_ cipi a=sirkote hine
(私)の 舟 (私)つない で

130 オラ エイタサ ネ ナイ ル オロ ピリカ ルウェ
ora eytasa ne nay ru or pirka ruwe
そして あまり その 川 筋 が きれい なこと

「また
私のところに遊びに来てください」
とその立派な旦那さんが言うので
また来ますと
私は何度も言って帰って行きました。
私の村に続く川をさかのぼって
舟をこいで行くと
もう疲れてしまった頃に
川が、きれいな川が注ぎ込んでいました。
その川の河口も
きれいな川の河口があったので
そこで休もうと思いました。
私の舟をつないで
あまりにもその川筋がきれいなことに

アコヨイセ ヒ クス[15]
a=koyoyse hi kusu
(私)心引かれる ので
心引かれたので

オラ シネ タラ[16] シネ サケ ポン オンタロ[17]
ora sine tara sine sake pon ontaro
そして 一 俵 一 酒 小さい 樽
ひとつの俵、ひとつの酒樽を

アシ… タプコモモ[18] カネ ヒネ
a=si... tapkomomo kane hine
(私)自分の肩に担ぎ も して
肩に担いで

オラ ネ ポン ナイ
ora ne pon nay
こんど その 小さい 川
その小さい川

135 ナイ ル オロ ピリカ ルウェ アコヨイセ イ クス
nay ru or pirka ruwe a=koyoyse _hi kusu
川 筋 の所 美しい こと (私)心引かれる ので
に心引かれたので

ネ ナイ トゥラシ アラパアン ルウェ ネ アクス
ne nay turasi arpa=an ruwe ne akusu
その 川 を遡って 行く(私) こと だっ たところ
さかのぼって行きました。すると

ルイ ノ アラパアン ルウェ ネ アクス
ruy no arpa=an ruwe ne akusu
ずっと 行く(私) こと だっ たところ
だいぶ行ったところで

フシコノ ニ トゥイパ オカ アン ヒ アナクネ
huskono ni tuypa oka an hi anakne
とても古い 木 を切る 跡 ある こと は
昔に木を切った跡があるのは

ネイ タ カ… イネ ヘンパク パ カ オカ[19] タ
ney ta ka... ine henpak pa ka oka ta
いつ か 何年 も の後 に
何年も前に

140 アイヌ アプカシ アイヌ オカ ア… アン ワクス
aynu apkas aynu oka a... an wakusu
人 歩く 人 い た いる ので
人間が来たので

ニ トゥイパ オカ アン ルウェ ネ ヤ…
ni tuypa oka an ruwe ne ya...
木 を切る 跡 ある の だ か
木を切った跡がある

ネ クニ アラム コロ
ne kuni a=ramu kor
だ と (私)思い ながら
のだろうかと思いました。

15 物語中で人がどこか特定の場所へ心引かれて行ってみたくなるというときは、何かの神に導かれて行動していることがある。
16 日本語「俵」からの移入語。
17 日本語「大樽」からの移入語とされる。
18 タプカコモモ tapkakomomo「～を肩に担ぐ」[田]。肩から前後に垂らして荷をかつぐことを言う。
19 文脈からするとここはオカ oka「(時間的な) の後」ではなくエトク etok「(時間的な) の前」と言おうとしたのではないか。

オラ　ナニ　ナニ
ora　nani nani
そして　すぐ　すぐ
そしてすぐに

ナイトゥラシアン　ルウェ　ネ　アクス
nayturasi=an　ruwe　ne　akusu
川をさかのぼる(私)　こと　だっ　たところ
川をさかのぼって行ったところ

145 ポン… ネ　ナイ　オッ　タ
pon...　ne　nay　or_　ta
小さい　その 川　の所　に
その川に

ポン　アイヌ　ルウェヘ　アン。
pon　aynu　ruwehe　an.
小さい　人　の足跡　ある
子供の足跡がありました。

アオヤモㇰテ　ソンノ　アイヌ　オカ　ヤクン
a=oyamokte　sonno　aynu　oka　yakun
(私)不思議に思う　本当に　人　暮らす　ならば
私は不思議に思って、本当に人が暮らしている

オカ　ルウェ　ネ　アン　ヒ　アエラム…
oka　ruwe　ne　an　hi　a=eramu...
暮らす　跡　に　なる　こと (私)思う
その跡なのだろうと思いました。

オラ　チェッポコイキ　オカ　アン　ポン…ポイ　ソン
ora　ceppokoyki　oka　an　pon...　pon_　son
そして　魚をとる　跡　ある　小さい　小さい　子
魚をとっている小さい子の

150 ルウェヘ　アン　ヒ… ルウェ　ネ　ヤ
ruwehe　an　hi...　ruwe　ne　ya
の足跡　ある　こと　の　なの　か
跡があるのかと

アオヤモㇰテ　コロ
a=oyamokte　kor
(私)不思議に思い　ながら
不思議に思いつつ

ナニ　ナニ　ナイ　トゥラシ　アラパアン　ヒ
nani　nani　nay　turasi　arpa=an　hi
すぐさま　川　を遡って　行く(私)　こと
すぐに川をさかのぼって行きました。

オラ　オヤㇰオヤㇰ　タ　チェプ　コイキ …
ora　oyak'oyak　ta　cep　koyki ...
こんど　あちこち　に　魚　をとる
ところどころに

ポン　チェプ　コイキ　オカ　アン　ヒ
pon　cep　koyki　oka　an　hi
小さい　魚　をとる　跡　ある　こと
小さい魚をとった跡があり

155 オラ　ナイトゥラシアン　イネ
ora　nayturasi=an　_hine
こんど　川をさかのぼる(私)　して
進んで行って

シエトクン　インカラン　ルウェ　ネ　アクス
sietok　un　inkar=an　ruwe　ne　akusu
自分の前方　を　見る(私)　こと　だっ　たところ
前方を見たところ

エホラㇰ チセ チセ ヘ
ehorak cise cise he
傾く 家 家 なのか
傾いた家、家なのか

ヘマンタ エホラㇰ チセ アン シリ
hemanta ehorak cise an siri
なんとまあ 傾く 家 ある 様子
傾いた家がある様子が

シエトクン アヌカㇻ ヒケ
sietok un a=nukar hike
自分の前方 に (私)見る が
行く手に見ました。

160 オラ ネ ポン チセ ソイ タ
ora ne pon cise soy ta
こんど その 小さい 家 の外 に
そしてその小さい家の外に

マッカチ ヘ ヘカチ ヘ ネ ヤ
matkaci he hekaci he ne ya
女の子 か 男の子 か で も
女の子か男の子かも

アエランペウテㇰ ノ アン
a=erampewtek no an
(私)わからない で いる
わからない子

オトピ タンネ オトピ コロ カネ ネ… アン シリ
otopi tanne otopi kor kane ne... an siri
髪 長い 髪 を持っ て その いる 様子
長い髪をしている様子が

シエトㇰ ウン アヌカㇻ。
sietok un a=nukar.
自分の前方 に (私)見る
前方に見えました。

165 アㇻパアン シリ… アン… ヒ クス
arpa=an siri... an... hi kusu
行く(私) 様子 ある ので
私が行こうとすると

ナニ ネア エホラㇰ チセ オルン アフン シリ
nani nea ehorak cise or un ahun siri
すぐ あの 傾いた 家 の中 に 入る 様子
すぐにあの傾いた家の中に入るのを

シエトクン アヌカㇻ コロ アㇻパアン ヒネ
sietok un a=nukar kor arpa=an hine
自分の前方 に (私)見 ながら 行く(私) して
見つつ進んで行きました。

オラ ネ チセ ソイ タ
ora ne cise soy ta
こんど その 家 の外 に
そしてその家の外へ行き

チセヘ エホラㇰ チセ ネ プ ネ クス
cisehe ehorak cise ne p ne kusu
その家 傾いた 家 な の だ から
崩れかかった家に

170 エウン アフナン ヒネ インカラン。
eun ahun=an hine inkar=an.
そこに 入る(私) して みる(私)
入ってみました。

ネプ カ イサム。
nep ka isam.
何 も ない
何もありません。

ソレクス[20] ネ イエトㇰ アン ワ アフン ア
sorekusu ne i=etok an wa ahun a
それこそ その（私の）前方に い て 入っ た
それこそ、あの私の前に入って行った

マッカチ ヘカチ ヘ カ オアリサム。
matkaci hekaci he ka oar isam.
女の子 男の子 か も 全く いない
子供の姿もありませんでした。

オラ ピㇼカノ インカラン ルウェ ネ アクス
ora pirkano inkar=an ruwe ne akusu
こんど よく 見る（私） こと だっ たところ
そしてよく見ると

ネプ カ ホッケ ヘネ キ ワ アン ルウェ ネ ノイネ
nep ka hotke hene ki wa an ruwe ne noyne
何 か 寝 でも し て いる の だ ろうか
何かが寝てでもいるようです。

ソウスッ ヘ
sowsut he
（家）の隅 か
家の隅にか

エホラㇰ チセ ソウスッ タ
ehorak cise sowsut ta
傾いた 家 の隅 に
傾いた家の隅に

ネン カ ホッケ ワ アン ルウェ ネ ノイネ
nen ka hotke wa an ruwe ne noyne
誰か 寝 て いる こと だ ような
誰かが寝ているような

アン シリ イキ ヒ クス… コㇿカ
an siri iki hi kusu... korka
いる 様子 する ので けれど
様子ですが

オラ ネプ カ ソモ アイェ ノ オラ
ora nep ka somo a=ye no ora
そして 何 も （私）言わず に こんど
何も言わずにいました。そして

“ ヤヤㇷ゚カシテ アイヌ アネ ヒネ
“ yayapkaste aynu a=ne hine
自分を歩かせる 人 （私）であっ て
「私が自分から進んで

アㇷ゚カサン ルウェ ネ ワ
apkas=an ruwe ne wa
歩く（私） こと であっ て
やって来たのは

ネプ カ ウェン コㇿ オラ…
nep ka wen kor ora...
何も 悪い を持つ そして

20 日本語「それこそ」からの移入語とされる。後に来ることがらを強調したいとき、また「さて」のように話が変わるときのつなぎの語としても使われる。この語を多用する話者もいる。

ネプ カ ウェン プリ アコロ ワ
nep ka wen puri a=kor wa　何か悪いことをしに
何 か 悪い ふるまい (私)持っ て

185 アプカサン シリ カ ソモ ネ…[21] ネ ア プ
apkas=an siri ka somo ne... ne a p　来たのではありません。
歩く(私) 様子 も しない だっ た が

エネ マッカチ ヘカチ ヘ アン ルウェ
ene matkaci hekaci he an ruwe　このように子供がいるのを
このように 女の子 男の子 か ある こと

シエトクン アヌカラ ア プ
sietok un a=nukar a p　見たのですが
自分の前方 に (私)見 た が

ヒナクン オシマ ルウェ ネ ヤ
hinak un osma ruwe ne ya　どこに行ってしまったのか
どこ に に入る こと だ か

アエラミシカリ コロカ
a=eramiskari korka　わからなかったのです。
(私)わからない けれど

190 ネプ カ ウェイ サンペ ウェン ケウトゥム アコロ ワ
nep ka wen_ sampe wen kewtum a=kor wa　何か悪い心を持って
何 か 悪い 心 悪い 気持ち (私)持っ て

エカン シリ カ ソモ ネ ナ”
ek=an siri ka somo ne na”　来たのではないのですよ」
来る(私) 様子 も しない です よ

セコロ ヤイコイタㇰアン コロ
sekor yaykoitak=an kor　とひとり言を言いました。
と ひとりごとを言う(私) ながら

オラ ネ アエ クニ プ カ
ora ne a=e kuni p ka　食べるものも
こんど その (私)食べる べき もの も

アエランペウテㇰ ノ オカ ルウェ ネ イ クス
a=erampewtek no oka ruwe ne _hi kusu　なく暮らしているらしく
(人)わからない で 暮らす こと な ので

195 オラ インカラン ス アナㇰネ アニ クス
ora inkar=an su anakne an _hi kusu　見ると鍋があったので
そして 見る(私) 鍋 は ある ので

ネ ス アコロ ワ ソイェネ イネ
ne su a=kor wa soyene _hine　その鍋を持って外に出て
その 鍋 (私)持っ て 外に出 て

21 相手が神であれ人であれ、様子がわからないときはこちらに敵意がないことをまず知らせるのは大事なことである。このフレーズは祈り言葉の冒頭にもよく使われる。

アフライェ　カ　キ　ヒネ
a=huraye　ka ki hine　　洗いました。
(私)洗い　も　し　て

オラ　アマム　アセ[22]　ワ　アナン　ペ　ネ　クス
ora　amam a=se　wa an=an pe ne kusu　　穀物を背負って来ているので
そして　穀物　(私)持っ　て　いる(私)　もの だ　から

ネ　アマム　アスパ　ヒネ　オラ
ne amam a=supa hine ora　　その穀物を料理しました。
その 穀物　(私)煮　て　こんど

200 アスパ　オカ　アニ　クス　オラ　スイ
a=supa oka an _hi kusu ora suy　　料理ができたので、また
(私)煮る　が終わる　ので　こんど　また

“ネプ　カ　ウェン　プリ　アコロ　ワ
“nep ka wen puri a=kor wa　　「何も悪いことをしに
何　も　悪い　ふるまい　(私)持っ　て

アプカサン　ヒ　カ　ソモ　ネ　クス
apkas=an hi ka somo ne kusu　　来たのではないので
歩く(私)　こと も　ない　ので

ネン　カ　アイヌ　アン　ヒ　ネ　ヤクン
nen ka aynu an hi ne yakun　　誰か人間がいるのなら
誰　か　人　いる　の　だっ たら

ホプニ　ワ　イヌカレ。
hopuni wa i=nukare.　　起きて姿を見せてください。
起き　て　(私に)見せる

205 スケアン[23]　カ　キ　イ　クス
suke=an ka ki _hi kusu　　料理もしたので
料理する(私)　も　する　ので

ヘカチ　ヘ　マッカチ　ヘ　アン
hekaci he matkaci he an　　子供の
男の子　か　女の子　か　いる

シリキ　ヒ　カ　アヌカラ　ア　プ
sirki hi ka a=nukar a p　　姿も見たので
姿がある　こと も　(私)見　た　が

ネ　ヘカチ　ヘネ　マッカチ　ヘネ　ネ　ヤッカ
ne hekaci hene matkaci hene ne yakka　　その子も
その 男の子　だか　女の子　だか　で　も

ホプニ　ワ　イペ　ヤク　ピリカ。
hopuni wa ipe yak pirka.　　起きて食事をしたらいいですよ。
起き　て　食事する と　いい

22　セ se は「～を背負う」という以外に普通に「～を持つ」という意味でも使われる。この場合は「～を肩に担ぐ」と前のくだりで表現されていたので、その動作もセ se に含まれるということになる。

23　「煮炊きをする」から発展して「食事の準備をする」という意味になる。

210 スケアン カ アキ… クス ネ ナ。
suke=an ka a=ki... kusu ne na.
料理する(私) も (私)し ます よ
そのつもりで料理をしたのですよ。

スケアン カ アエプ アナクネ アコロ ペ ネ ナ"
suke=an ka aep anakne a=kor pe ne na"
料理する(私) も 食べ物 は (私)持つ もの だ よ
食べ物も持って来たのですよ」

セコロ イタカン ルウェ ネ アクス
sekor itak=an ruwe ne akusu
と 言う(私) こと だっ たところ
と言ったところ

ネア ホッケ アイヌ ヘ ネプ ネ ヤ
nea hotke aynu he nep ne ya
その 寝ている 人 か 何 か も
その寝ていた人間なのか何かのか

アエランペウテク ノ ホッケ ワ アン ルウェ
a=erampewtek no hotke wa an ruwe
(私)わからない で 寝 て いる こと
わからない、寝ていたものが

215 イキア プ ヘタンプタンプ ヒネ
ikia p hetamputampu hine
その 者 頭を上げ上げし て
頭を上げて

レイェレイェ ヒネ サン… ホプニ ワ
reyereye hine san... hopuni wa
這っ て 出る 起き て
這って来て…起きて

アペヘコテ シッテムライパ コロ サン シリ アヌカラ
apehekote sittemraypa kor san siri a=nukar
火の方へ 手さぐり ながら 出る 様子 (私)見る
いろりの前に這って出て来た様子を見ると

ソンノ アイヌ ヘ… アイヌ セコロ アイェ ヤッカ
sonno aynu he... aynu sekor a=ye yakka
本当に 人 か 人 と (私)言っ ても
本当に人間なのか

マク アイェ ヤク ピリカ ヤ カ アランペウテク ノ
mak a=ye yak pirka ya ka a=rampewtek no
どう (私)言う と いい か も (私)わからない で
何と言っていいかわからない

220 オトピヒ リ ワ
otopihi ri wa
その髪 伸び て
髪が伸びて

ナヌフ アナク… ネ ヤッカ レキヒ リヤリヤ
nanuhu anak... ne yakka rekihi riyariya
その顔 は で も そのひげ 何年もたつ
顔でも、ひげも髪も何年も伸び放題

オトピ ネ ヤッカ リヤリヤ オラ シクセイ[24] カ サク。
otopi ne yakka riyariya ora siksey ka sak.
その髪 で も 何年もたつ こんど 目の玉 も ない
さらには目の玉がありませんでした。

24 上田トシ氏はここではシクセイ siksey で「目の玉」の意味だとしているが、C230UT_35299A の類話ではシクヌム カ サク ヘル シクセイ タクプ ネ siknum ka sak heru siksey takup ne「目の玉がない、ただ目の穴だけがある」と言っているので、本来は「目の穴」という意味であったかも知れない。この話では以後シクヌミ siknumi とシクセイ siksey が同じ意味のように語られている。ちなみに静内地方の話者は「ユカラ yukar の中に出て来るシクセイ siksey は目の穴のことだろう」と語っている。

アイヌ　ヘ　ウェンカムイ　ヘ　ネ　ヤ
aynu　he　wenkamuy　he ne ya　　人間なのか魔物なのか
人間　か　悪神　か　だ　か

アエランペウテク　ノ　アン　ペ
a=erampewtek　no an　pe　　わからないものが
(私)わからない　で　いる　もの

225 レイェレイェ　ヒネ　シッテムライパ　コロ
reyereye　hine sittemraypa　kor　　這って手さぐりで
這いずっ　て　手でさぐり　ながら

アペサム　タ　サン　ルウェ　ネ　ヒネ
apesam　ta san　ruwe　ne　hine　　いろりのそばに出て来ました。
火のそば　に　出る　こと　であっ　て

エアラキンネ　アケムヌ　ネ　ヤ　キ　アクス
earkinne　a=kemnu ne ya ki akusu　　本当に気の毒に思っていると
本当に　(私)哀れむ　で　も　し　たところ

オシ　ネ…　シエトクン　アヌカラ
os　ne...　sietok　un　a=nukar　　後ろからあの前方に見た
その後　その　自分の前方　に　(私)見た

マッカチ　ネ　ヤクン　マッカチ　ネ　ノイネ　アン　ペ
matkaci　ne　yakun matkaci ne noyne an　pe　　女の子らしい子供が
女の子　だっ　たら　女の子　の　ように　いる　もの

230 ネ　レイェレイェ　コロ　サン　クル　オシ
ne　reyereye　kor　san　kur　os　　這って出て来た人の後から
その　這いずる　ながら　出る　人　の後

ウトゥラ　ヒネ　アペサム　タ　サッパ　ルウェ
utura　hine apesam　ta sappa　ruwe　　一緒に火のそばに来たので
連れだっ　て　火のそば　に　出る　こと

エアラキンネ　アケムヌ　ア　アケムヌ　ア
earkinne　a=kemnu a　a=kemnu a　　本当に気の毒でならず
本当に　(私)かわいそう　で　(私)かわいそう　で

オラ　アコウウェペケンヌ。
ora　a=kouwepekennu.　　私は尋ねました。
こんど　(私)尋ねた

“ オリパカン　コロ　ネ　コロカ
“ oripak=an　kor　ne　korka　　「失礼ですが
遠慮をする(私)　ながら　だ　けれど

235 マク　ネ　ワ　エネ　キム　タ　オカ　ルウェ　ネ　ヤ。
mak ne wa ene　kim　ta oka　ruwe　ne ya.　　どうしてこのような山の中にいるのですか。
どう　し　て　こう　山　で　暮らす　の　です　か

ネプ　カ　ウェイ　サンペ　アコロ　ワ
nep　ka wen_　sampe a=kor　wa　　私は何か悪い心を持って
何　も　悪い　心　(私)持っ　て

エカン ルウェ カ ソモ ネ。
ek=an ruwe ka somo ne.　　来たのではありません。
来る(私) こと も ない

タプ ネ カネ オキムネ… ウイマムエサンアン ヒネ
tap ne kane okimne... uymam'esan=an hine　　このようなわけで交易に川を下って来て
このように 山に 交易に行く(私) して

オラ ペッ トゥラシ ラリウア ヒネ エカン ア プ
ora pet turasi rariw=an hine ek=an a p　　川をさかのぼって舟を漕いで来たのでしたが
そして 川 をさかのぼる 舟をこぐ(私) して 来た(私) した が

240 エイタサ ナイ ピリカ ナイ ル オロ ピリカ ルウェ
eytasa nay pirka nay ru or pirka ruwe　　あまりにも川筋がきれいであることに
あまりにも 川 美しい 川 筋 の所 美しい こと

アオクンヌレ ヒ クス
a=okunnure hi kusu　　感心したので
(私)感心する ので

ナイ トゥラシ エカン ア プ
nay turasi ek=an a p　　川をさかのぼって来たのです。
川 を遡って 来る(私) した が

エネ フシコノ ニ トゥイパ ルウェヘ アン ヒ クス
ene huskono ni tuypa ruwehe an hi kusu　　このように昔木を切った跡があったので
こう とても古い 木 を切る の跡 ある ので

アイヌ アン ヤクン
aynu an yakun　　人が
人 いる ならば

245 アイヌ アン クニ アラム ノ
aynu an kuni a=ramu no　　いるように思い
人 いる と (私)思っ て

ニ トゥイパ ルウェ カ アン。
ni tuypa ruwe ka an.　　木を伐った跡もありました。
木 を切る 跡 も ある

オラ ナニ ナニ ナイトゥラシアン ルウェ ネ アクス
ora nani nani nayturasi=an ruwe ne akusu　　そしてすぐに川をさかのぼって来たところ
そして すぐ すぐ 川をさかのぼる(私) こと だっ たところ

ポイ ソン ルウェヘ アン イネ
pon_ son ruwehe an _hine　　小さい子の足跡があって
小さい 子 の足跡 あっ て

オラ チェッポコイキ オカ カ アン ヒ クス
ora ceppokoyki oka ka an hi kusu　　魚を捕った跡もあったので
こんど 魚をとる 跡 も ある ので

250 イオヤモㇰテアン クス エカン ルウェ ネ ア プ
ioyamokte=an kusu ek=an ruwe ne a p　　不思議に思って来たのでした。
不思議に思う(私) ので 来た(私) こと だっ た が

ナイトゥラシアン　ア　プ
nayturasi=an　a　p
川をさかのぼる(私)　した が
川をさかのぼって来たら

イエトㇰ　タ　アン　シリ　イキ… イヌカラ　アクス
i=etok　ta　an　siri　iki...　i=nukar　akusu
(私の)の前方　に　ある　様子　する　(私を)見　たところ
私の前に姿が見え

ナニ　キラ　ワ　アフン　ア　コㇿカ
nani kira　wa ahun　a　korka
すぐ　逃げ　て　入っ　た　けれど
すぐ逃げて家に入ってしまったので

ナニ　エカン　ルウェ　ネ。
nani　ek=an　ruwe　ne.
すぐ　来る(私)　の　です。
私がやって来たのです。

255 ネプ　カ　ウェイ　サンペ　アコン　ルウェ　カ
nep　ka wen_　sampe　a=kor_ ruwe　ka
何　も　悪い　心　(私)持つ　こと　も
私は何か悪い考えを持っている

ソモ　ネ　クス…　ルウェ　ネ"
somo ne　kusu...　ruwe　ne"
しない　ので　こと　である
のではないのですよ」

セコㇿ　ハウェアナン　コㇿ　オッ　タ
sekor　hawean=an　kor　or_　ta
と　言う(私)　ながら　そこ　で
と言ったところで

“アスパ　プ　エ　ワ　イコレ”
“a=supa　p　e　wa i=kore”
(私)煮炊きした　もの　を食べ　て　(私に)ください
「私が料理したものを食べてください」

セコㇿ　ハウェアナン　コㇿ　アコイプニ　アクス
sekor　hawean=an　kor　a=koypuni　akusu
と　言う(私)　ながら　(私)差し出し　たところ
と言って差し出すと

260 オラ　イペ　カ　キ。
ora　ipe　ka ki.
こんど　食事　も　する
食べました。

ネ　オンネクㇽ　ヘ　アイヌ　ヘ
ne onnekur　he　aynu　he
その 老人　か　人　か
その老人か人間なのか

ネプ　ネ　ヤ　アエランペウテㇰ　ノイネ　アン
nep　ne ya　a=erampewtek　noyne　an
何　だ　か　(私)わからない　よう　な
何なのかわからないような

カトゥフ　アン　ペ　オラ　イペ　カ　キ。
katuhu　an　pe　ora　ipe　ka ki.
おかしな姿の　もの　こんど　食事　も　する
おかしな姿のものが食事をしました。

アイヌ　アナㇰネ… アイヌ　ネ　ルウェ　アナㇰ
aynu　anakne...　aynu　ne　ruwe　an _yak
人　は　人　である　こと　ある　すれば
人間であることは

265 アエラムアン　コロカ
a=eramuan　korka　わかりましたが
(私)理解する　けれど

ソンノ　アシトマ　ノ　カネ
sonno　a=sitoma　no　kane　本当に恐ろしい
本当に　(私)恐ろしく　て　するほど

カトゥフ　アン　ヒネ　ネ…
katuhu　an　hine　ne...　変わった姿をしていて
おかしな姿　ある　して　その

アイペレ…テケヘ…イタンキ　カ　アニ　クス
a=ipere...　tekehe...　itanki　ka　an　_hi　kusu　お椀があるので
(私)食べさせる　の手　お椀　も　ある　ので

ネ　イタンキ　オロ　アスパ　アエプ
ne　itanki　or　a=supa　aep　そのお椀に料理したものを
その　お椀　に　(私)煮炊きした　食べ物

270 アコロ　イネ　テケヘ　アコトゥッカ　アクス
a=kor　_hine　tekehe　a=kotukka　akusu　よそって差し出すと
(私)持っ　て　の手　(私)伸ばし　たところ

イペ　カ　キ　オラ
ipe　ka　ki　ora　その人は食べました。
食事　も　する　そして

サケ　カ　アコロ　ペ　ネ　クス
sake　ka　a=kor　pe　ne　kusu　酒も持っていたので
酒　も　(私)持つ　もの　だ　から

ネ　サケ　カ　アクレ。
ne　sake　ka　a=kure.　その酒も飲ませました。
その　酒　も　(私)飲ませる

エアラキンネ　エヤイコプンテク　コロ
earkinne　eyaykopuntek　kor　本当に喜んで
本当に　喜び　ながら

275 “シクヌアン　ヘ　キ　ヒネ　エネ　アン　ピリカ　アエプ
“siknu=an　he　ki　hine　ene　an　pirka　aep　「生きているので、このような美味しい食べ物を
生きる(私)　か　し　て　こう　いう　おいしい　食べ物

アエ　ルウェ　アン　イク[25]　ルウェ　アン”
a=e　ruwe　an　iku　ruwe　an”　食べたり飲めたりするのだ」
(私)食べる　こと　ある　酒を飲む　こと　ある

セコロ　ハウェアン　コロ
sekor　hawean　kor　と言って
と　言う　ながら

25　ク ku は 2 項動詞で「〜を飲む」。飲むものは水でもジュースでも何でもいい。イク iku は 1 項動詞で「酒を飲む」。飲むものは酒に限定される。

チシ コロ チシ エエオヤオヤク コロ
cis kor cis eeoyaoyak[26] kor　泣きながらいろいろと
泣き ながら 泣く いろいろ ながら

イペ ネ ヤ イク ネ ヤ キ イ クス
ipe ne ya iku ne ya ki _hi kusu　食べたり飲んだりしていたので
食事 で も 飲酒 で も する の だから

オラ マク ネ ワ エネ オカ ルウェ ネ ヤ
ora mak ne wa ene oka ruwe ne ya　どうしてこのように暮らしているのか
こんど どう し て こう 暮らす こと です か

カンナ ルイノ アコウウェペケンヌ ワ
kanna ruyno a=kouwepekennu wa　何度も尋ねました。
何度も (私)尋ね て

オリパカン コロカ セコロ ハウェアナン コロ
oripak=an korka sekor hawean=an kor　失礼ですが、と言いつつ
遠慮する(私) けれど と 言う(私) ながら

アコウウェペケンヌ ルウェ ネ アクス
a=kouwepekennu ruwe ne akusu　尋ねたところ
(私)尋ねる こと だっ たところ

エネ ハウェアニ。
ene hawean _hi.　このように言いました。
このように 言った

“タン アコロ イシカラ エトコ タ
“tan a=kor iskar etoko ta　「この石狩川の上流に
この (私)の 石狩 川の上流 に

アユピヒ カ トゥラ…カ アン ヒネ
a=yupihi ka tura... ka an hine　兄と一緒に
(私の)兄 も 一緒に も い て

ウソイタ オカアン ペ ネ ア プ
usoyta oka=an pe ne a p　隣同士で暮らしていました。
隣同士で 暮らす(私) もの だっ た が

エアラキンネ アユピヒ ウェイ サンペ コロ ペ ネ ワ
earkinne a=yupihi wen_ sampe kor pe ne wa　本当に兄は悪い心の持ち主で
本当に (私の)兄 悪い 心 を持つ もの であって

オラノ マク ネ ワ ネ ヤ マッコロ エウェン ワ
orano mak ne wa ne ya matkor ewen wa　どういうわけか結婚運がなく
それから どう し て だ か 妻をもらう で悪くなる して

マチヒ ネ ヤ コレウェン
macihi ne ya korewen　妻も悪く
妻 で も 粗末にする

26　オヤクヤク oyakoyak「あちこち、いろいろ違った所」[田] と言おうとしたと思うが、音の通りに表記した。

コイペウナラ　ワ…　コロ　アン。
koipewnara　wa...　kor　an.　　物惜しみをするのでした。
物惜しみし　て　ながら　いる

シネ　ポ　コロ　ペ　ネ　ア　プ
sine　po　kor　pe　ne　a　p　　子供がひとりいたけれど
ひとり　子供　を持つ　もの　だっ　た　が

ネ　ポホ　ネ　ヤッカ　コレウェン　ネ　ヤ　キ。
ne　poho　ne　yakka　korewen　ne　ya　ki.　　その子も粗末にして
その　子供　で　も　粗末にする　で　も　する

マッ　カネ　コロ　オラ　マチヒ
mat　kane　kor　ora　macihi　　妻をもらっても
妻　でも　持つと　こんど　妻

295 キカ　キカ　アイネ
kik a　kik a　ayne　　殴って殴って
何度も殴っ　た　あげく

オラ　ネア　マチヒ　カ　ヤイケシテ　ワ　ネ　ヤ
ora　nea　macihi　ka　yaykeste　wa　ne　ya　　その妻も逃げたり
そして　その　妻　も　逃げ出し　て　だ　とか

ヤイライケ　ワ　イサム　ルウェ　ネ。
yayrayke　wa　isam　ruwe　ne.　　自殺してしまったりしたのです。
自殺し　て　しまう　の　です

オラ　シネ　ポ　アナク
ora　sine　po　anak　　ひとりっ子は
そして　ひとり　子　は

ネア　ポホ　ネ　ヤッカ　コレウェン　アイネ　オラ
nea　poho　ne　yakka　korewen　ayne　ora　　その子も運がなくて
その　の子供　で　も　粗末にする　あげく　そして

300 ネ　ポホ　カ　ライ　ワ　イサマン　ヒ
ne　poho　ka　ray　wa　isam=an　hi　　死んでしまいました。
その　の子供　も　死ん　で　しまう(人)　こと

オラ　オカアニ　カ　イシトマアン　イ　クス
ora　oka=an　_hi　ka　isitoma=an　_hi　kusu　　私たちは暮らしていても恐ろしいので
そして　暮らす(私)　こと　も　恐ろしい(私)　ので

オラ　テ　タ　ネ　ヒ　ヤイケシテアン　ヒネ
ora　te　ta　ne　hi　yaykeste=an　hine　　ここへ逃げて来て
こんど　ここ　に　である　ところ　逃げる(私)　して

オカアン　ルウェ　ネ　ア　プ
oka=an　ruwe　ne　a　p　　暮らしていたのです。
暮らす(私)　こと　だっ　た　が

オラ… コㇿカ ソモ カ[27] イオシ サン ペ ネ クナㇰ
ora... korka somo ka i=os san pe ne kunak　けれどまさか私の後から来るとは
そして　けれど　まさか　(私の)後 来る　もの だ　と

305 アラム　ア プ
a=ramu a p　思わなかったのですが
(私)思っ　た　が

イオシ サン　ヒネ
i=os san hine　(兄が) 私を追いかけて来て
(私の)後　川を下っ　て

オラノ アマチヒ　コラムコㇿ[28]
orano a=macihi koramkor　私の妻を誘惑したのです。
それから　(私の)妻　を誘惑する

オラ アマチヒ コパン コㇿ
ora a=macihi kopan kor　妻が拒んだら
そして (私の)妻　を拒む　と

オラノ キカ　キカ　アイネ
orano kik a kik a ayne　さんざん殴ったあげくに
それから　何度も殴っ　た　あげく

310 オラ トゥラ ワ アㇻパ ワ オラ
ora tura wa arpa wa ora　連れて行ってしまいました。
そして 連れる　して 行く　して こんど

タン アン マッカチ オッカイポ
tan an matkaci okkaypo　この女の子と男の子
この　いる　女の子　男の子

トゥ ポ アコㇿ カネ ヒネ
tu po a=kor kane hine　ふたりの子を私は持っていて
2　児　(私)持ち も　して

テ タ オカアン ルウェ ネ ア プ
te ta oka=an ruwe ne a p　ここで暮らしていたのですが
ここ に 暮らす(私)　こと　だっ た　が

オラ アマチヒ キカ　キカ　アイネ
ora a=macihi kik a kik a ayne　妻を殴って
そして (私の)妻　何度も殴っ　た あげく

315 オラ ニンパ ニンパ エホㇿカ ニンパ コㇿ
ora ninpa ninpa ehorka ninpa kor　引きずって
そして 引きずり 引きずり 逆さに　引きずっ て

オラ ネ オッカヨ ポ… アコㇿ ポイ ソン カ
ora ne okkayo po... a=kor pon_ son ka　男の子、私の息子も
そして その 男の子　子　(私)の　小さい 息子　も

27 ソモ　カ somo ka「まさか～するとは思わなかったが」。

28 コラムコㇿ koramkor「に相談する」。「頼む」のようなニュアンスでも使う［田］。これ以外にも「ちょっかいをかける」「女を口説く」「女を誘ってみる」［萱］という意味がある。

トゥラ ヒネ アマチヒ トゥラ ワ
tura hine a=macihi tura wa
連れ て (私の)妻 を連れ て
連れて、妻も連れて行って

アラパ ワ イサム ワ
arpa wa isam wa
行っ て しまっ て
しまったのです。

オカケ タ オカアン ルウェ ネ ア コロカ
okake ta oka=an ruwe ne a korka
その後 で 暮らす(私) の だっ た けれど
その後暮らしていたのですが

アッパケタ アナクネ アマチ イサム コロカ
atpaketa anakne a=maci isam korka
最初 は (私の)妻 いない けれど
初めは妻がいないけれど

ネプ カ アエシリキラプ カ ソモ キ ノ
nep ka a=esirkirap ka somo ki no
何 も (私)苦労し も しない で
何を苦労することもありませんでした。

イペ アナクネ ユプテクアン ペ ネ クス
ipe anakne yuptek=an pe ne kusu
食事 は 働き者である(私) もの だ から
食事は私が働き者なので

ウサ ユク ネ ヤ カムイ ネ ヤ
usa yuk ne ya kamuy ne ya
色々 シカ で も クマ で も
シカやクマを

アライケ プ ネ クス
a=rayke p ne kusu
(私)とる もの だ から
とって来たので

ネプ カ アエシリキラプ カ ソモ キ ノ
nep ka a=esirkirap ka somo ki no
何 も (私)苦労し も しない で
何を苦労することもなく

アコロ ペッ トゥラノ オカアン ペ ネ ア プ
a=kor pet turano oka=an pe ne a p
(私)の 川 と共に 暮らす(私) もの だっ た が
私の川で暮らしていたのでした。

マク ネ ワ ネ ヤ
mak ne wa ne ya
どう し て だ か
どうしたことか

オラノ ネプ カ ウェンカムイ
orano nep ka wenkamuy
こんど 何 か 悪神
兄があれから何か悪神に

イコノンノイタク ワ ネ クニ アラム。
i=kononnoitak wa ne kuni a=ramu.
(私に)祈っ て だ と (私)思う
祈ったのだろうと思います。

エクシコンナ シクナカン ワ
ekuskonna siknak=an wa
突然 失明する(私) して
突然目が見えなくなって

オラノ　アシㇰヌミヒ　アラカ　ネ　ヒ[29]
orano　a=siknumihi arka　ne hi　　それから目が痛んで
それから　(私の)目の玉　痛む

アシㇰヌミ　ペネ　ワ
a=siknumi pene wa　　目の玉が腐って
(私の)目の玉　腐っ　て

オラノ　イェ　チカ　チカ　アイネ
orano　ye　cik a　cik　a　ayne　　膿がポタポタたれて
それから　うみ　何度もしたたっ た　あげく

オラ　アシㇰヌミ　オピッタ　ペネ　ワ　イサン　マ
ora　a=siknumi opitta　pene wa isam　_wa　　目の玉がみんな腐ってしまいました。
そして　(私の)目の玉　全部　腐っ　て　しまっ　て

335 オラ　オカケ　タ　エネ　ヘル　シㇰセイ　タクプ
ora　okake　ta　ene　heru　siksey　takup　　その後はただ目の穴だけを
そして　その後　で　こうして ただ　目の穴　だけ

アコロ　ワ　アナン　ルウェ　ネ　イケ　カ
a=kor　wa　an=an　ruwe　ne　_hike ka　　持っていても
(私)持っ　て　いる(私)　の　であっ ても

オラ　エネ　ネ　ヒ　カ　イサム　ワ
ora　ene　ne　hi　ka　isam　wa　　どうしようもなく
こんど　どう　する　こと も　なく　て

オラノ　シッテムライパアン　コロ　アナン。
orano　sittemraypa=an　kor　an=an.　　手探りで暮らしました。
それから　手探りをする(私)　ながら　暮らす(私)

アエプ　アナㇰネ　アッパケ　タ　アコロ　ペ　ネ　クス
aep　anakne　atpake　ta　a=kor　pe　ne　kusu　　食べ物は、初めは持っていたので
食べ物　も　最初　に　(私)持つ　もの な　ので

340 アコロ　オペレ　スパ　ワ　アエ。
a=kor　oper　supa　wa　a=e.　　娘が料理をして食べていました。
(私)の　娘　煮炊きし て　(私)食べる

イパロイキ　コロ　オカアン　ペ　ネ　ア　プ
i=paroyki　kor　oka=an　pe　ne　a　p　　娘が私を養っていたのですが
(私に)養っ　て　暮らす(私)　もの だっ た　が

タネ　アコロ　アエプ　カ　イサミ
tane　a=kor　aep　ka　isam　_hi　　もう蓄えていた食糧もなくなったので
もう　(私)の　食べ物　も　ない　こと

オロワノ　チェッポコイキ　ワ　ネ　ポン　チェッポ
orowano　ceppokoyki　wa　ne　pon　ceppo　　魚をとって、その小さい魚を
それから　魚をとっ　て　その 小さい 小魚

29　アラカ　ネヒのような音に聞こえる。アラカ　イネ arka _hine かアラカ　アイネだろうか。不明。

スパ ワ イエレ ネ ヤ キ コロカ
supa wa i=ere ne ya ki korka 料理して私に食べさせたりしていました。
煮炊きして （私に）食べさせ で も する けれど

345 シクナカン ペ ネ クス
siknak=an pe ne kusu 目が見えないので
失明する（私） もの だ から

イパロ… ワ イエレ
i=paro... wa i=ere 私に食べさせていました。
（私の）口 して （私に）食べさせる

オラ アウニヒ カ エネ イコホラク[30] ワ
ora a=unihi ka ene ikohorak wa 私の家もこのように崩れ落ちてしまい
こんど （私の）家 も このように 崩れ落ち て

エネ アン チセ ヘ
ene an cise he このように家だか
こん な 家 か

ヘマンタ オッ タ オカアン イケ カ
hemanta or_ ta oka=an _hike ka 何だかわからないところで暮らしながら
何 の所 に 暮らす（私） しても

350 オラ ヤイヌアン ウミ エネ アニ。
ora yaynu=an _humi ene an _hi. このように考えたのです。
こんど 思う（私） 感じ このようだった

タネ ヤイカタ アナクネ オンネアン ペ ネ クス
‘tane yaykata anakne onne=an pe ne kusu 『もう自分は年を取ったので
もう 自分 は 年を取る（私） もの だ から

ライアン ヤクン ライアン ヤッカ ピリカ コロカ
ray=an yakun ray=an yakka pirka korka 死んでしまってもいいけれど
死ぬ（私） ならば 死ぬ（私） しても いい けれど

オラ ライアン オカ タ
ora ray=an oka ta 私が死んだ後
こんど 死ぬ（私） の後 で

マカナク アコロ オペレ イキ プ アン
makanak a=kor oper iki p an’ 娘はどうしたらいいのだろう』
どのように （私）の 娘 する もの だろうか

355 セコロ ヤイヌアン コロ
sekor yaynu=an kor と思いました。
と 思う（私） ながら

オラノ ネ ワ アン ペ パテク
orano ne wa an pe patek それからそればかりを
それから 今言ったその こと ばかり

30　ホラク horak は一項動詞で「崩れ落ちる」。イコ iko がついても動詞の項数は変わらない。

アエサンペコニタタ[31] ワ… コロ
a=esampekonitata wa... kor
(私)心に抱え ながら
心に抱えて

ケシト アナン ルウェ ネ ヤクン
kesto an=an ruwe ne yakun
毎日 暮らす(私) こと である ならば
毎日暮らしていたのですが

ネウン ニシパ ネウン オッカイポ
neun nispa neun okkaypo
どんな 旦那 どんな 若者
どんな旦那さん、どんな若者が

360 エネ イコオシコニ ワ
ene i=koosikoni wa
このように (私に)追いつい て
このようにやって来て

ピリカ アエプ ピリカ サケ イイペレ イイクレ
pirka aep pirka sake i=ipere i=ikure
おいしい 食べ物 おいしい 酒 (私に)食べさせ (私に)飲ませる
おいしい食べ物や酒を食べさせ飲ませてくれた

ヒ ネ ヤ”
hi ne ya”
こと です か
のですか」

セコロ ハウェアン コロ チシ コロ ハウェアン。
sekor hawean kor cis kor hawean.
と 言い ながら 泣き ながら 言う
と言って泣きながら話をしました。

エアラキンネ アケムヌ ア アケムヌ ア
earkinne a=kemnu a a=kemnu a
本当に (私)本当に気の毒で 気の毒で
本当に気の毒で

365 マク ネ ワ オラ エネ カトゥフ アニ アン
mak ne wa ora ene katuhu an _hi an
どう し て こんど こんな おかしな姿 なる の だろう
一体どうしてこのような姿になったのだろう

セコロ ヤイヌアン
sekor yaynu=an
と 思う(私)
と思いました。

カ タ オラ ヤイヌアン フミ エネ アニ。
ka ta ora yaynu=an humi ene an _hi.
上 に こんど 思う(私) 感じ このようだった
その上私が思ったのはこのようなことでした。

“ソンノ アウヌフ ヘネ ソモ ネ ヤクン
“sonno a=unuhu hene somo ne yakun
本当に (私の)母 でも ない ならば
「本当に私の母がそうでないのなら

エネ マク ネ ヒネ
ene mak ne hine
一体 どう であっ て
一体どうして

31 エサンペコニタタ e-sampe-ko-nitata（について • 心 • に • 押さえる)。

370 アウヌフ チシ コロ パテク アン ア プ”
a=unuhu cis kor patek an a p”
(私の)母 泣い て ばかり い た が
母は泣いてばかりいるというのだ」

セコロ ヤイヌアン。
sekor yaynu=an.
と 思う(私)
と思いました。

“トゥラノ アナン アオナハ
“turano an=an a=onaha
一緒に いる(私) (私の)父
「一緒に暮らしている父は

ヘマンタ ウェイ サンペ コロ ヘネ キ
hemanta wen_ sampe kor hene ki
何か 悪い 心 を持ち でも する
何か悪い心を持っているの

ルウェ ネ ヤ”
ruwe ne ya”
の だ か
ではないか」

375 セコロ アサンペ オッ タ ヤイヌ。
sekor a=sampe or_ ta yaynu.
と (私の)心 の所 で 思う
と、心の中で思いました。

ソンノ ヤイルシカアン ルウェ ネ コロカ
sonno yayruska=an ruwe ne korka
本当に ひとりで腹を立てる(私) の だ けれど
とても腹が立ったけれど

ネプ カ タプネ ネ ヒ カ
nep ka tapne ne hi ka
何 も このよう な こと も
何もこのようなことだとは

アイェ カ ソモ キ コロカ
a=ye ka somo ki korka
(私)言う も しない けれど
言わずに

オラ アイペレ アイクレパ ヒネ オラ
ora a=ipere a=ikurepa hine ora
そして (私)食べさせ (私)酒を飲ませ て こんど
食事をさせ酒を飲ませました。そして

380 “アホッパ タネ ホシピアン クス ネ コロカ
“a=hoppa tane hosipi=an kusu ne korka
(私)置いて 今 帰る(私) つもりだ けれど
「今は置いて家に帰るつもりだけれど

オラ タネ トゥッコ レレコ ネ ヤクン
ora tane tutko rerko ne yakun
そして もう 2日 3日 した ならば
２、３日したら

アフナラパ クス スイ エカン クス ネ ナ。
a=hunarpa kusu suy ek=an kusu ne na.
(私)探す ために また 来る(私) つもりだ よ
探しにまた来るつもりです。

エカン　パㇰノ　タン　アン　ネ　マッカチ　ウンノ[32]
ek=an　pakno　tan　an　ne　matkaci　unno
来る(私)　まで　この　いる　あの 娘　に
私が来るまでその女の子に

スパ　ワ‘ネ　エカシ　ヘ　エオナハ　ヘ
supa　wa‘ ne　ekasi　he　e=onaha　he
料理し　て　その　おじいさん か　(お前の)父　か
料理をして『このおじいさんかお父さんに

385 エイペレ　コロ　アプンノ　エチオカ　ヤㇰ　ピリカ　ナ。’
e=ipere　kor　apunno　eci=oka　yak　pirka　na.’
(お前)食べさせ ながら 穏やかに　(お前達)いれ ば　いい　よ
食べさせて穏やかに暮らしていたらいいよ』

オラ　カンナ　アエコフナラ　クス　ネ　ナ”
ora　kanna　a=e=kohunara　kusu　ne　na”
そして　また　(私がお前を)探す　つもりだ　よ
そしてまたあなたたちを探して来てあげよう」

セコロ　ハウェアナン　コロ
sekor　hawean=an　kor
と　言う(私)　ながら
と言って

ソイネ　ヒネ　オラ　タプネ　ネ　ワ…
soyne　hine ora　tapne　ne　wa...
外に出　て　こんど こう　し　て
外に出て、このような…

ネ　ヒ　カ　ヤイカタ　アナㇰネ
ne　hi　ka　yaykata　anakne
である こと も　自分　は
わけですと私自身は

390 ヤイオペオペアン[33]　カ　ソモ　キ　ノ
yay’opeope=an　ka　somo ki　no
名乗る(私)　も　しない　で
名乗ることもせずに

ソイネアン　ヒネ　オラ　エカン　ヒネ
soyne=an　hine ora　ek=an　hine
外に出る(私)　して　そして 来る(私)　して
外に出て帰って来ました。

アウニ　タ　シレパアン　ヒ　オラ
a=uni　ta　sirepa=an　hi　ora
(私の)家　に　着く(私)　こと そして
私の家に着いて

アコロ　ワ　オカイ　ペ　アウニ　タ　アルラ　カ　キ。
a=kor　wa okay　pe　a=uni　ta　a=rura　ka　ki.
(私)持っ　て　いる　もの (私の)家　に　(私)運び　も　する
私の持ち物を私の家に運びました。

ウサ　サケ　ネ　ヤ　ウサ　キンカイ
usa　sake　ne ya　usa　kinkay
色々な 酒　や 色々な　着替え
酒や着物や

395 ウサ　サケ　ネ　ヤッカ　ネプ　ネ　ヤッカ
usa　sake　ne yakka　nep　ne　yakka
色々　酒　で も　何　で　も
酒などを

32　セリフの途中だが、ここだけ「あの女の子に」と主人公の説明になっている。

33　ヤヨペヨペ「自己紹介（する）」[萱]。

アウニ タ アルラ ア コロカ
a=uni ta a=rura a korka　私の家に運んだけれど
(私の)家 に (私)運ん だ けれど

タプネ カネ ホシピアン エトゥ タ
tapne kane hosipi=an etok ta　このようなわけで帰る前に
このように 帰る(私) 前 に

アイヌ ヌカラ アイヌ ヘ ヘマンタ
aynu nukar aynu he hemanta　人間を見た、人間か何かを
人 を見る 人 か 何か

アヌカラ ア ルウェ ネ ヒ カ
a=nukar a ruwe ne hi ka　見たということも
(私)見 た の だ こと も

400 アイェ カ ソモ キ ノ
a=ye ka somo ki no　言わずにいました。
(私)言い も しない で

アオナハ エウン アイペレ カ アイクレ カ キ ヒ
a=onaha eun a=ipere ka a=ikure ka ki hi　父に食べさせたり飲ませたりして
(私の)父 に (私)食べさせ も (私)飲ませ も する こと

オラ ナ ネン ネン アコイソイタㇰ エンカ タ
ora na nen nen a=koisoytak enka ta　いろいろな話をしていて
そして まだ いろ いろ (私)話す 上 で

“アオナハ ネプ カ ペウレ ヒ タ
“a=onaha nep ka pewre hi ta　「父さん、何か若いときに
(私の)父 何 か 若い とき に

ネプ カ ヤイケウコロ ヘネ ネプ カ ウェン プリ
nep ka yaykewkor hene nep ka wen puri　人の道に反すること、何か悪いことを
何 か 人の道に反する でも 何 か 悪い おこない

405 ヘネ ソモ コン ルウェ ネ ヤ？”
hene somo kor_ ruwe ne ya ?”　しませんでしたか」
でも 持たない の ですか

アコウウェペケンヌ アクス
a=kouwepekennu akusu　と尋ねたところ
(私)尋ね たところ

“ネプ カ ウェン プリ カ アコロ カ ソモ ネ。
“nep ka wen puri ka a=kor ka somo ne.　「何も悪いことなどしていない。
何 も 悪い おこないも (私)持ち も しない

ウェイ サンペ カ アコロ カ ソモ キ ルウェ ネ”
wen_ sampe ka a=kor ka somo ki ruwe ne”　悪い心を持ったりしていないぞ」
悪い 心 も (私)持ち も しない の だ

セコロ ハウェアン ルウェ ネ コロカ
sekor hawean ruwe ne korka　と言うけれど
と 言う の だ けれど

410 “ソンノ ネ ヤ” アコウウェペケンヌ
“sonno ne ya” a=kouwepekennu
本当 なの か (私)尋ねる
「本当なのか」と尋ねて

“ソンノ ネ ヤ” ヒ イェ コロカ
“sonno ne ya” hi ye korka
本当 なの か と 言う けれど
「本当か」と言い

ナニ サパウシペ オトピ アテッコノイェ[34] コロ
nani sapauspe otopi a=tekkonoye kor
すぐ 頭に生えたもの 髪 (私)手でねじりあげ ながら
すぐに髪の毛をねじりあげて

“ソンノ ネ ヤ。
“sonno ne ya.
本当 なの か
「本当か。

アオナハ ソンノ アオナハ ネプ カ
a=onaha sonno a=onaha nep ka
(私の)父 本当に (私の)父 何 も
父さんは、本当に父さんは何かの

415 ウェンカムイ コノンノイタク ソモ キ ヤ”
wenkamuy kononnoitak somo ki ya”
悪神 に祈る しない か
悪神に祈ったりしていないか」

セコロ アイェ アクス オラ エアシリ
sekor a=ye akusu ora easir
と (私)言っ たところ こんど 初めて
と言ったところ、そうして初めて

“タネ アナクネ
“tane anakne
今 は
「今は

アコロ ウェン プリ アコロ ウェン カッチャム
a=kor wen puri a=kor wen katcam
(私)の 悪い 行い (私)の 悪い ふるまい
私の悪いふるまいを

アカラクフ イコオシコニ ヒ ネ ヤクン
a=karkuhu i=koosikoni hi ne yakun
(私の)おい (私)追及される こと である ならば
おいっ子にとがめられるのならば

420 マク アイェ ハウェ”
mak a=ye hawe”
どう (私)言う こと
何と言おう」

セコロ ハウェアン コロカ
sekor hawean korka
と 言う けれど
と言ったけれど

ナニ アトイコキッキク ヒネ
nani a=toykokikkik hine
すぐ (私)ひどく殴っ て
すぐにひどく殴りつけて

34 テッコノイェ tek-ko-noye（手 • で • をねじる）。

エソイネ　アトイコキッキㇰ
esoyne　a=toykokikkik　外でひどく殴りつけて
外で　(私)ひどく殴る

ラポッケ　アライケ　ヒネ
rapokke　a=rayke　hine　殺してしまいました。
そのうちに　(私)殺し　て

エソイネ　アニンパニンパ　ヒネ
esoyne　a=ninpaninpa　hine　外にひきずっていって
外に　(私)ひきずっ　て

アトイコタタ　アムンコタタ　ルウェ　ネ　ヒネ
a=toykotata　a=munkotata　ruwe　ne　hine　土や草と一緒に刻んでしまいました。
(私)土と刻む　(私)草と刻む　こと　であっ　て

オラ　アウヌフ　エウン
ora　a=unuhu　eun　そして母に
そして　(私の)母　に

“タプネ　ネ　ワ
“tapne　ne　wa　「このようなわけで
このようなわけ　なの　で

ナイトゥラシアン　アクス
nayturasi=an　akusu　川をさかのぼって行ったところ
川をさかのぼる(私)　したところ

エネ　ソンノ　アオナハ　ネ　ヤ
ene　sonno　a=onaha　ne　ya　本当の父なのか
このように　本当の　(私の)父　だ　か

アマタキ[35]　ネ　ヤ　エラミシカリ　コロカ
a=mataki　ne　ya　eramiskari　korka　妹なのかわからないけれど
(私の)妹　だ　か　わからない　けれど

アパ　ルウェ　ネ”
a=pa　ruwe　ne”　見つけたんだよ」
(私)見つける　こと　です

セコロ　ハウェアナン　ルウェ　ネ　アクス
sekor　hawean=an　ruwe　ne　akusu　と言ったところ
と　言う(私)　こと　だっ　たところ

アウヌフ　オラノ　ポ　ヘネ　ライパラパラㇰ　コロ
a=unuhu　orano　po　hene　rayparaparak　kor　母は激しく泣きました。
(私の)母　それから　なおさら　ひどく泣き　ながら

オラ　ナニ　イシムネ
ora　nani　isimne　そしてすぐに翌日
そして　すぐ　翌日

35　一般的にはマタキ mataki は姉が妹に対して使う言い方。兄から妹に対してはマタパ matapa、トゥレシ turesi と言うが、この話では全てマタキ mataki となっている。トシさんは女性なので、馴染みのある言葉のほうを無意識に使ったものか。

ウサ　アミプ　ネ　ヤ　ウサ　オカイ　ペ　コロ　ワ
usa　amip　ne ya　usa　okay　pe　kor　wa　　着物やいろいろなものを持って
色々　着物　で　も　色々　ある　もの 持っ　て

オラ　ナニ　アウヌフ　トゥラノ　サパン　ヒネ
ora　nani　a=unuhu　turano　sap=an　hine　　すぐに母と一緒に川を下って行って
こんど　すぐ　(私の)母　と一緒に　川を下る(私) して

ネ　ナイ　トゥラシ　パイェアン　アクス
ne nay　turasi　paye=an　akusu　　あの川に沿って行きました。すると
その 川　遡って　行く(私)　したところ

エネ　アン　チセ　ヘ　ヘマンタ　オッ　タ　オカ　ルウェ
ene　an　cise　he hemanta or_　ta oka　ruwe　　あの家で暮らしているのを
こんな　家　か　何か　の所　に　暮らす こと

440 アウヌフ　ヌカラ　ワ
a=unuhu　nukar　wa　　母が見て
(私の)母　見　て

オラノ　ライパラパラク　コロ　アオシマ　ヒネ
orano　rayparaparak　kor　a=osma　hine　　激しく泣きながら中に入ると
それから　ひどく泣き　ながら　(私)入っ　て

オラノ　ナニ　“アコロ　オペレ”
orano　nani　“a=kor　oper”　　すぐに「娘よ」
それから　すぐに　(私)の　娘

セコロ　ハウェアン　ヒ
sekor　hawean　hi　　と言いました。
と　言う　こと

オラノ　ネ　マッカチ　ヘ　ネ　ヤ　アナクネ
orano　ne　matkaci　he　ne ya　anakne　　その娘は
それから　その 女の子　か　だ　か　は

445 ウヌフ　ネ　ヤ　ネプ　ネ　ヤ
unuhu　ne ya　nep　ne ya　　母なのか何なのか
母　なの か　何　なの か

エラミシカリ　プ　ネ　クス
eramiskari　p　ne kusu　　わからないのでした。
わからない　もの だ　から

アウヌフ　パラパラク　オラ
a=unuhu　paraparak　ora　　母は泣いて
(私の)母　泣く　こんど

“アホクポ”
“a=hokupo”　　「私の旦那様」
(私の)旦那さま

セコロ　アウヌフ　ハウェアン　コロ
sekor　a=unuhu　hawean　kor　　と言って
と　(私の)母　言い　ながら

ネ オンネクル ヘ
ne onnekur he
その 老人 か
その老人のような

シクセイ カ サク クル コテッテレケ コロ
siksey ka sak kur kotetterke kor
目の玉 も ない 人 に駆け寄り ながら
目が見えない人のところに駆け寄って

パラパラク コロ… ルウェ ネ ヒネ オラ
paraparak kor... ruwe ne hine ora
泣き ながら こと であっ て こんど
泣いていました。

“タプネ カネ ネ ワ… ネ ヒ
“tapne kane ne wa... ne hi
こういうわけ なの で である こと
「このようなわけで

アポホ ウイマム エサン クシケライポ
a=poho uymam esan kuskeraypo
(私の)息子 交易に 下る おかげで
息子が交易に行ったおかげで

アホクポ アマッネポホ
a=hokupo a=matnepoho
(私の)夫 (私の)娘
旦那さんと娘を

アポホ パ ルウェ ネ”
a=poho pa ruwe ne”
(私の)息子 を見つける の です
見つけたのです」

セコロ アウヌフ ハウェアン ペ ネ クス
sekor a=unuhu hawean pe ne kusu
と (私の)母 言う もの だ から
と母が言ったので

オラ ネ シクセイ カ サク クル カ
ora ne siksey ka sak kur ka
そして あの 目の玉 も ない 人 も
その盲目の人も

パラパラク コロ
paraparak kor
泣き ながら
激しく泣きながら

“アポホネ アン ペ エネ アウェンユピヒ
“a=pohone an pe ene a=wenyupihi
(私の)息子 ある もの こんな (私の)悪い兄
「息子がこのように、悪い兄が

ウェン カッチャム コロ ワ
wen katcam kor wa
悪い 行い 持っ て
悪いことをして

タネ アマチヒ カ ライ ワ イサム ルウェ ネ
tane a=macihi ka ray wa isam ruwe ne
もう (私の)妻 も 死ん で しまう の だ
もう妻も死んでしまった

クナク アラム ア プ
kunak a=ramu a p
と (私)思っ た が
と思っていたのだったが

エネ　アカトゥ　アン　ルウェ　ネ　ヤッカ
ene　a=katu　an　ruwe　ne yakka　　このような姿になっても
こんな　(私の)無様　な　こと　で　も

465 アマチヒ　カ　タネ　イコオシコニ　ルウェ　アン”
a=macihi ka tane i=koosikoni　ruwe　an”　　妻も私のところに来てくれたのだ」
(私の)妻　も　もう　(私を)探す　こと　だなあ

セコロ　ハウェアン　コロ
sekor　hawean　kor　　と言って
と　言い　ながら

ウコパラパラㇰパ　コロ
ukoparaparakpa　kor　　互いに大泣きをしました。
互いに泣き　ながら

オラ　ナニ　アウヌフ　ウセイ　カラ　ヒネ
ora　nani　a=unuhu usey　kar　hine　　すぐに母はお湯を沸かして
こんど　すぐ　(私の)母　お湯　を沸かし　て

ナニ　ネ　マッカチ　カ　オトピ　トゥイェ[36]
nani　ne matkaci　ka　otopi　tuye　　その娘の髪を切って
すぐ　その 娘　も　髪　を切る

470 ナヌフ　カ　メムケ　オラ　ピリカ　アミプ　カ
nanuhu ka memke ora　pirka　amip　ka　　顔を拭いて、きれいな着物も
その顔　も　剃る　こんど　きれいな　着物　も

コロ　ワ　サプ　ペ　ネ　クス
kor　wa sap　pe ne kusu　　持って行っていたので
持っ　て　行く　もの だ　から

ナニ　ピリカ　アミプ　カ　ミレ　ワ
nani　pirka　amip　ka mire wa　　いい着物も着せると
すぐ　きれいな　着物　も　着せ　て

ネ　マッカチ　カ　エヤイコプンテㇰ。
ne matkaci　ka eyaykopuntek.　　その娘は喜びました。
その 娘　も　喜んだ

オラ　ネ　シㇰセイ　カ　サㇰ　アオナハ　ネ　コロカ
ora　ne siksey　ka sak　a=onaha ne korka　　それから盲目の父だけれど
こんど　その 目の玉　も　ない　(私の)父　だ　けれど

475 アオナハ　カ　ナニ　オトピヒ　カ　トゥイェ
a=onaha　ka nani otopihi　ka tuye　　すぐ髪を切って
(私の)父　も　すぐ　髪　も　切る

ナヌフ　カ　カラ　ピリカノ…
nanuhu ka kar　pirkano...　　顔も拭いてきれいに…
その顔　も　拭く　きれいに

36　昔の女性は髪をあごのあたりでまっすぐに切りそろえる習慣であった。

ピリカ アミプ セ ワ サン ペ ネ クス
pirka amip se wa san pe ne kusu　きれいな着物を背負って来ていたので
きれいな 着物 を背負っ て 川を下る もの だ から

ピリカ アミプ カ アミレ ワ
pirka amip ka a=mire wa　それを着せました。
きれいな 着物 も (私)着せ て

オラノ チシ コロ
orano cis kor　そして泣きながら
それから 泣き ながら

480 “アポホ ネ アン ペ エネ… アン クシケライポ
“a=poho ne an pe ene... an kuskeraypo　「息子がいたおかげで
(私の)息子 で ある もの こうして いる おかげで

エイコオシコニ
e=i=koosikoni　私を探して
(お前が私を)探す

カムイ イコホサリ ワ”
kamuy i=kohosari wa”　神が助けてくれたのだ」
神 (私に)振り向く よ

セコロ ハウェアン コロ エヤイコプンテク コロ
sekor hawean kor eyaykopuntek kor　と言って喜んで
と 言い ながら 喜び ながら

ナニ ネア チセ アヌイェオッケ ヒネ
nani nea cise a=nuyeotke hine　すぐにその家を燃やしました。
すぐ その 家 (私)火をつけ て

485 オラノ ネ アオナハ ネ アン ペ
orano ne a=onaha ne an pe　そしてその父である人の
それから その (私の)父 で ある もの

アウヌフ テケ アニ ヒネ
a=unuhu teke ani hine　手を母は取って
(私の)母 の手 を持っ て

ナイ オプッ タ サパン ヒネ
nay oput ta sap=an hine　川の下流に下って行き
川 河口 に 下る(私) して

オラ ナニ アチピクサ ヒネ アラキアン ヒネ
ora nani a=cipikusa hine arki=an hine　すぐに舟で
そして すぐ (私)舟で渡し て 来る(私) して

アウニ タ ネ イシカラ エトコ タ アラキアン イネ
a=uni ta ne iskar etoko ta arki=an _hine　私の家、石狩川の上流に来ました。
(私の)家 に その 石狩 の上流 に 来る(私) して

490 オラ　アウニ　タ　ネ　イユプネ　クル[37]
ora　a=uni　ta　ne　iyupne　kur
そして　(私の)家　に　その　兄である　人
そして私の家にいた兄である人

ウェンカムイ　アナクネ　アライケ　ワ
wenkamuy　anakne　a=rayke　wa
悪いやつ　は　(私)殺し　て
悪いやつは殺して

イサム　ペ　ネ　クス
isam　pe　ne　kusu
しまった　もの　だ　から
しまったので

オカケ　タ　オラ　アオナハ　ソンノ　アオナハ
okake　ta　ora　a=onaha　sonno　a=onaha
その後　で　こんど　(私の)父　本当の　(私の)父
それからは父、本当の父と

トゥラノ　オカアン　ワ　オラノ
turano　oka=an　wa　orano
と一緒に　暮らす(私)　して　こんど
一緒に暮らしました。

495 エネ　シリキラッパ　パテク　イキ　ア　プ[38]　セコロ
ene　sirkirappa　patek　iki　a　p　sekor
こんな　苦労　ばかり　し　た　のに　と
このように苦労ばかりをしたのだと

ヤイヌアン　ワ
yaynu=an　wa
思う(私)　して
思って

オラノ　アピリカコロ
orano　a=pirkakor
それから　(私)大切にする
それからは大切にして

アピリカイペレ　アピリカミレ
a=pirkaipere　a=pirkamire
(私)よく食べさせる　(私)よく着せる
おいしい食事、きれいな着物を着せて

オラノ　エアシリ　アウヌフ　カ
orano　easir　a=unuhu　ka
それから　初めて　(私の)母　も
そうして初めて母も

500 ソモ　チシ　ノ　イペ　ネ　ヤ
somo cis　no　ipe　ne　ya
泣かず　に　食事する　で　も
泣かずに食事するようになり

ナ　ネン　ネン　イキ
na　nen　nen　iki
まだ　いろいろ　する
いろいろなことをしました。

オラ　アコロ　オペレ[39]　ネ　ヤッカ
ora　a=kor　oper　ne　yakka
そして　(私)の　妹　で　も
妹にも

37　これは「父の兄」という言い方で、つまりは叔父のこと。別の言い方としてアチャポ acapo やケウストゥ kewsutu とも言う。
38　何と言おうとしたのかよくわからないが、こう言おうとしたのだろうと推測した。
39　オペレ oper は年長者が女の子に対して「おじょうちゃん」という感じて親しみを込めて使う言葉。

アシリキラプテ　ア　プ　セコロ　イオマプ
a=sirkirapte　a　p　sekor　iomap　苦労をさせたと思ってかわいがり
(私)苦労させ　た　が　と　かわいがる

オラ　ヤイカタ　カ　エネ　アン　ピリカ　マタキ
ora　yaykata　ka　ene　an　pirka　mataki　私自身もこのような良い妹を
そして　自分　も　このように　良い　妹

505 アコロ　ペ　ネ　アン　ペ　オラ
a=kor　pe　ne　an　pe　ora　持っていていたのに
(私)持つ　もの　で　ある　のに　こんど

エネ　アン　シリキラプ　アキ　ペ…アニ　アン　セコロ
ene　an　sirkirap　a=ki　pe...an　_hi　an　sekor　このように苦労をさせたのだと
こんな　苦労　(私)する　ある こと　ある　と

ヤイヌアン　ワ　アトゥヤシカラプ　ペ　ネ　クス
yaynu=an　wa a=tuyaskarap　pe　ne　kusu　思って、かわいそうに思い
思う(私)　して (私)憐れむ　もの だ　から

オラノ　ポ　ヘネ　アピリカイミレ
orano　po hene　a=pirkaimire　なおさらきれいな着物を着せて
それから　なおさら　(私)きれいに着飾らせる

アピリカコロ
a=pirkakor　大切にかわいがりました。
(私)大切にする

510 ネプ　カ　アカレ　カ　ソモ　キ　ノ
nep　ka　a=kare ka　somo　ki　no　何もさせずに
何　も　(私)させ　も　しない　で

アケムヌ　プ　ネ　クス
a=kemnu　p　ne　kusu　かわいそうなので
(私)同情する　もの だ　から

ネノ　アピリカコロ　オカアン。
neno　a=pirkakor　oka=an.　大切にして暮らしました。
同じように (私)大切にする　暮らす(私)

アオナハ　ネ　ヤッカ　アマタキ　ネ　ヤッカ
a=onaha　ne　yakka　a=mataki ne　yakka　父にも妹にも
(私の)父　で　も　(私の)妹　で　も

キ　コロ　オカアン。
ki　kor　oka=an.　そうして暮らしました。
し　ながら 暮らす(私)

515 ラポッケ　オラ
rapokke　ora　そのうちに
そのうちに　こんど

タネ　マテトゥン　パハ　パクノ　アナン　ペ　ネ　クス
tane　matetun　paha pakno　an=an　pe　ne　kusu　私ももう妻を娶る年にまでなったので
もう　妻をもらう　年　まで　なる(私)　もの だ　から

マテトゥンアン　ワ
matetun=an　wa　　妻をもらって
妻をもらう(私)　して

ピリカ　メノコ　トゥラノ　オカアン　ワ
pirka　menoko turano　oka=an　wa　　美しい妻と暮らしました。
美しい　女性　と一緒に　暮らす(私)　して

オラノ　ポ　ヘネ　アウヌフ　アシリキラプテ　ア　プ
orano　po hene a=ununuhu a=sirkirapte　a　p　　母にも苦労をさせた
それから　なおさら　(私の)母　(私)苦労させ　た　が

520 セコロ　ヤイヌアン　ワ
sekor　yaynu=an　wa　　と思って
と　思う(私)　して

オラノ　アウヌフ　ネ　ヤッカ
orano　a=ununuhu ne yakka　　母にも
それから　(私の)母　で　も

マッ　アコロ　ヒ　オロワノ　アナクネ
mat　a=kor　hi　orowano　anakne　　妻をもらってからは
妻　(私)持つ　とき　それから　は

ネプ　カ　アカレ　カ　ソモ　キ　ノ
nep　ka a=kare ka somo ki　no　　何もさせないで
何　も　(私)させ　も　しない　で

アヌヌケ　コロ　アナン。
a=nunuke kor　an=an.　　大切にして暮らしました。
(私)大切にし　ながら　暮らす(私)

525 ラポッケ　オラ　ネア　アマタキヒ　カ
rapokke　ora　nea　a=matakihi ka　　そのうちにあの娘にも
そのうちに　そして　その　(私の)妹　も

アトゥヤシカラッ　ペ　ネ　クス
a=tuyaskarap　pe ne kusu　　心を配り
(私)同情する　もの だ　から

ピリカ　オッカヨ　アエトゥン　ヒネ
pirka　okkayo　a=etun　hine　　良い旦那さんと結婚させて
良い　男性　(私)添わせ　て

アシソユンテ[40]　ワ　アピリカ…　ノ　オカアン。
a=sisoyunte　wa a=pirka...　no oka=an.　　隣に所帯をかまえ、良い暮らしをしました。
(私)自分の外にいさせ　て　(私)良く　して　暮らす(私)

ウコシネウパアン　ウコシネウパ　ネ　ヤ
ukosinewpa=an　ukosinewpa　ne ya　　互いに訪ね合ったり
互いに訪ね合う(私)　互いに訪ね合う　で　も

40　シソユンテ si-soy-un-te（自分 •[の家] の外 • にいる • させる）で「隣に住まわせる」。

530 ネプ カ アカラ ヤッカ
nep ka a=kar yakka
何 か (私)し ても
何かをするのでも

イペ ネ ヤッカ ネプ ネ ヤッカ
ipe ne yakka nep ne yakka
食事 で も 何 で も
食事をするのでも何でも

ウコイヤンパ ネ ヤ イコイヤニ ネ ヤ キ コロ
ukoyyanpa ne ya i=koyyani ne ya ki kor
互いに分け合う で も (私に)くれる で も し ながら
分け合って

オカアン アイネ
oka=an ayne
暮らす(私) したあげく
暮らしました。

ポ カ アコロ ワ
po ka a=kor wa
子供 も (私)持っ て
子供もできて

535 アウヌフ イヨマプ カ キ ア コロカ
a=unuhu iyomap ka ki a korka
(私の)母 かわいがり も し た けれど
母はかわいがっていましたが

シリキラッ ペ ネ クス
sirkirap pe ne kusu
苦労をする もの だ から
苦労をしたので

トゥナシノ イサム ア コロカ
tunasno isam a korka
早くに 死ん だ けれど
早くに死んでしまいました。

オカケ タ ピリカノ
okake ta pirkano
その後 に よく
その後立派に

アウヌフ ネ ヤッカ アオナハ ネ ヤッカ
a=unuhu ne yakka a=onaha ne yakka
(私の)母 で も (私の)母 で も
母も父も葬式を出し

540 アオカノミ コロ アコヌラッパ コロ アナン アイネ
a=okanomi kor a=konurappa kor an=an ayne
(私)供養し ながら (私)供養し ながら いる(私) やがて
先祖供養をしました。

タネ ヤイカタ カ オンネアン ルウェ ネ コロカ
tane yaykata ka onne=an ruwe ne korka
もう 自分 も 年を取る(私) こと だ けれど
もう自分も年を取ってしまったけれど

タプネ カネ ネ ワ
tapne kane ne wa
このようなわけ であっ て
このようなわけで

アマタキヒ アシリキラプテ プ ネ アクス
a=matakihi a=sirkirapte p ne akusu
(私の)妹 (私)苦労させる もの だっ たところ
妹に苦労をさせたのだけれど

アポ　ウタラ　ネ　ヤッカ　ウコウェイサンペコロ　サク　ノ
a=po　utar　ne　yakka　ukoweysampekor　sak　no　子供たちにも互いに悪い心を持つことなく
(私の)子ら　で　も　互いに悪い心を持た　ない　で

545 アマタキヒ　ポホ　ウタッ　トゥラノ
a=matakihi　poho　utar_　turano　妹の子供たちと
(私の)妹　子供　たち　と一緒に

ウコウェンケウトゥムコロパ　ソモ　キ　ノ
ukowenkewtumkorpa　somo ki　no　互いに悪い心を持つことがないように
互いに悪い心を持た　ない　で

オカ　ヤク　ピリカ　ナ　セコロ
oka　yak　pirka　na　sekor　暮らしなさいと
暮らせ　ば　いい　よ　と

ピリカノ　アカシパオッテ　コロ
pirkano　a=kaspaotte　kor　言い聞かせて
よく　(私)言い聞かせ　ながら

イサマン　ペ　ネ　アクス　アイェ　セコロ
isam=an　pe　ne　akusu　a=ye　sekor　死んで行くので話をしますと
死ぬ(私)　もの　だっ　たところ　(私)言う　と

550 シネ　メノコ[41]　イソイタク
sine　menoko　isoytak　ひとりの女性が物語りました
ある　女性　物語る

セコロ　ネ。
sekor　ne.　とさ。
と　いう

41　ニシパ nispa「旦那さん」というべきところだけれど、最後に来て妹の方に話者が代わったということか。

アイヌ民族博物館　民話ライブラリ 2
上田トシの民話 2

発　行　日　　2015 年 2 月 28 日
編集・発行　　一般財団法人 アイヌ民族博物館
〒 059-0902 北海道白老郡白老町若草町２－３－４
TEL 0144-82-4199　FAX 0144-82-6121

本書は平成 26 年度公益財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構の研究・出版助成（アイヌ文化関連出版助成）の成果である。